

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立海老江西小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

校 訓 明るく 正しく 強く

学校教育目標 心豊かにたくましく生きる子どもを育てる

学校経営目標 一人一人が **かがやき** **いきいき**と学び **せ**かいとつながり

未来を **いきぬく**力をはぐくむ

『めざす子ども像』

- ・心身ともに健康で、チャレンジする子
- ・ちがいを認め合い、互いを尊重する子
- ・自分の考えを持ち、自分を表現する子
- ・興味・関心を持ち、すすんで学ぶ子
- ・つながりを大切に、学び続ける子

『めざす学校像』

- ・安全で安心できる学校
- ・一人一人の個性が輝く学校
- ・豊かな心と健康な体をはぐくむ学校
- ・確かな学力をつける学校

『めざす教職員像』

- ・子どもに向き合い寄り添う教職員
- ・チームワークを大切にする教職員
- ・学び続け、専門性を高める教職員
- ・子どもや保護者から信頼される教職員

本校は、令和 6 年度に創立 110 周年を迎えた歴史と伝統のある学校である。

現在、9 学級 (内特別支援学級 3 学級)、児童数が 158 名の小規模校で、全学年児童が家族的な雰囲気の中で学んでいる。

また、併設幼稚園がある特色を生かし、幼小合同の避難訓練や運動会などをはじめ様々な幼小交流活動にも年間通して取り組んでいる。地域のコミュニティ・地域の人とのふれあい活動も進めている。

校内では、1 年生から 6 年生までの児童でたてわり班を編成し、全校遠足やたてわり集会、たてわり清掃など、年間通して、たてわり班活動に取り組んでいる。

校区には、古くからの街並みが残し、地域の方々の学校に対する思いは熱く、学校とともに取り組む行事も多い。校区にある「八坂神社」の夏祭りは特に盛んで、地車が町を練り歩き賑わう。祭りを中心にした組織の結束力は強く、人情味のある地域の方々がみんな子どもを育てていくといった文化が受け継がれている。

現状と課題

たてわり班の活動を学校行事の様々な場面に取り入れ、異学年の交流を大切にしてきた。さらに、全学年で幼稚園との交流活動を行ったり、幼小合同の行事を行ったりしてきた。その成果、児童の自尊感情が育ち、校内アンケートでは 94.9%の児童が「学校が楽しい」と肯定的に回答し、98.5%の児童が「学校行事が楽しい」と肯定的に回答している。

毎月の児童理解研修会 (スクリーニング会議) や心の天気、いじめアンケートの活用により、全教職員で児童を見守る体制を構築してきた。また、様々な形で児童の情報を共有し、小さな変化も見逃さないように努めてきた。その結果、大きないじめに発展する前に問題を解決の方向へと導くことができた。今後も、いじめは絶対にしてはいけないという強い姿勢で、子どもたちに対応していくとともに、意識させるようにしていく。

年間 30 日以上欠席した不登校児童は 2 名いたが、改善傾向にある。今後もスクールカウンセラーを始め諸関係機関と協力しながら全教職員でかかわっていく。

総合的読解力育成カリキュラムの研究を計画的・組織的に進めることができた。そして、児童が「わかる」「楽しい」と感じる授業作りを学校全体で行うことができた。その結果、96.3%の児童が「授業がわかりやすい」と肯定的に答え、経年調査の総合得点も、すべての学年で大阪市を上回ることができた。

これまでの課題であった話し合い活動では、ペアトークやグループトークなど、様々な場面で取り入れることにより、改善がみられた。今後も、話し合い活動を活発に行えるように工夫を重ね、「主体的・協働的な学び」を推進していく。

体力の向上については、計画的に各種の運動強調週間を実施することにより、体を動かす時間が増え、運動への意識も高まり、休み時間や放課後に運動場で遊ぶ児童が増えた。スポーツテストの体力合計点は、男子、女子ともに大阪市平均を上回った。しかし、どちらも全国平均には届かず、筋力面と瞬発力、柔軟性の面で男女ともに課題がみられたので、今後も児童が楽しみながら意欲的に運動に取り組めるように、計画的に運動強調週間を実施していく。

令和7年度の授業中におけるICT機器の活用状況は、全学年1年間を通して80%以上であった。今後は、さらに効果的な活用方法を模索していくとともに、これまで以上に、個別の学びに活用していく。情報モラル教育については、全体的には改善されてきているものの、SNSの使い方についてはだまだ課題が多く、各家庭への啓発を含め、これからもしっかりと取り組んでいく必要がある。

働き方改革については、時間外勤務時間は大阪市平均より少なく、年々減少している。今後も働き方改革の取り組みを推進していくとともに、保護者や地域の皆様とともに進めていけるように情報を発信していく。

読書活動については、学校全体で様々な取り組みを行い、一定の成果はあった。しかし、ICT機器の活用が進み、全体的には読書離れの傾向にある。よって、今後も様々な形で児童が文字に親しみ、言語能力を高められるよう取り組んでいく。

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果

平均正答率	国語	算数
学校	69.0	62.0
大阪市	65.0	58.0
全国	66.8	58.0

令和7年度 小学校学力経年調査結果

学年	平均	国語	社会	算数	理科	英語
6年生	学校	68.5	71.0	78.8	69.5	94.6
	大阪市	67.7	64.8	70.7	64.0	86.0
5年生	学校	76.1	61.1	72.9	71.2	89.2
	大阪市	70.8	59.4	63.8	66.9	85.5
4年生	学校	75.9	61.9	72.4	77.8	
	大阪市	69.0	58.7	67.5	70.3	
3年生	学校	79.4	73.7	78.7	69.2	
	大阪市	70.8	67.7	69.6	62.6	

令和 7 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

男子

年度	平均	握力	上体起し	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力 合計点
		kg	回数	c m	回数	回数	秒	c m	m	
R 7	学校	13. 75	21. 15	32. 38	38. 23	47. 15	9. 56	137. 69	21. 15	51. 58
	大阪市	15. 70	19. 17	33. 01	38. 63	45. 42	9. 52	148. 43	20. 76	51. 54
	全国	15. 69	19. 46	33. 88	40. 89	47. 94	9. 46	150. 93	21. 06	53. 02

女子

年度	平均	握力	上体起し	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力 合計点
		kg	回数	c m	回数	回数	秒	c m	m	
R 7	学校	13. 54	19. 15	36. 00	36. 62	43. 33	9. 67	136. 92	13. 54	53. 58
	大阪市	15. 40	18. 33	37. 58	36. 86	35. 15	9. 83	139. 41	12. 67	52. 58
	全国	15. 61	18. 36	38. 15	38. 70	36. 85	9. 77	142. 34	13. 11	53. 97

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 学校生活アンケートにおいて児童も保護者も「学校へ行くのが楽しい」と肯定的に回答する割合が、95%以上を維持し続ける。【1. 安全・安心な教育環境の実現】
- 児童が小学校学力経年調査において「自分には良いところがある」と肯定的に回答する割合が 85%以上になるようにする。【2. 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における標準化得点を各学年とも 1 以上にし、維持する。【4. 誰一人取り残さない学力の向上】
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点の対全国比を男女ともに 1 以上にし、維持する。【5. 健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。【6. 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】
- 教職員の働き方改革を進め、教職員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 75%以上にする。【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】
基準 1：・1 か月の時間外勤務が 45 時間を超えない かつ ・1 年間の時間外勤務が 360 時間を超えない

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**95%**以上にする。

R7:94.5%【1. 安全・安心な教育環境の実現】

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を**86.5%**以上にする。

R7:86.4%【2. 豊かな心の育成】

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より**0.001**ポイント向上させる。

R7:4年+0.006 5年+0.032 6年-0.025【4. 誰一人取り残さない学力の向上】

・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を**80%**以上にする。

【5. 健やかな体の育成】

【学びを支える教育環境の充実】

・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。

R7:66.2%【6. 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】

・時間外勤務時間について、年**720時間**を超えて実施する教員をゼロにする。

【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式例 2)

大阪市立 (海老江西小学校) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【安全・安心な教育の推進】 ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95% 以上にする。 R7:94.5% 【1. 安全・安心な教育環境の実現】 ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86% 以上にする。 R7:85.7% 【2. 豊かな心の育成】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】 ・ いじめやいのちの大切さについて考える授業を道徳などを活用して学期に 1 回、計画的に実践し、友だちと一緒に楽しく安心して過ごせる教育環境を実現していくようにする。 ・ 毎月、「児童理解研修会」をもち、情報共有をし、子どもたちの関係を把握することで組織的に対応していく。	
指標 ・ 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95% 以上にする。	
取組内容② 【基本的な方向 2 豊かな心の育成】 ・ 異学年での活動（たてわり班活動・クラブ活動・委員会活動）を充実させる。 ・ 運動会や作品展、芸術鑑賞会、社会見学、宿泊行事などを充実させるとともに、様々なゲストティーチャーとの体験活動を各学年 1 回以上実施し、心の成長につなげる。	
指標 ・ 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86% 以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例 2)

大阪市立 (海老江西小学校) 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.001 ポイント向上させる。 R7:4 年+0.006 5 年+0.032 6 年-0.025 【4. 誰一人取り残さない学力の向上】 ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を 80% 以上にする。 【5. 健やかな体の育成】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】 ・国語科の基礎・基本となる語彙力を向上させるために、国語科の授業の中でわからない言葉があれば、その都度、国語辞典を活用する。また、図書の時間に借りることができる 2 冊の本のうち、1 冊以上を『9・物語等』から選ぶようにする。	
指標 ・小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.001 ポイント向上させる。	
取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 ・規則正しい生活が大切であるということを意識づけるために、6 月～2 月（8 月を除く）に、健康週間を実施する。 ・長期休業中にも毎日朝食を食べる習慣をつけさせるために、夏季・冬季休業中に、健康カレンダーの課題に取り組む。	
指標 ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答をする児童の割合を 80% 以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 90% 以上にする。 【6. 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・ 時間外勤務時間について、年 720時間 を超えて実施する教員をゼロにする。 【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【6. 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ・ 心の天気の入力を定着させる。 ・ デジタルドリルや canva などを活用し、家庭学習に活かす。 ・ 連絡帳と teams を併用して家庭との連携を図る。	
指標 ・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 90% 以上にする。	
取組内容② 【7. 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・ 授業時数や校時表の見直しを行ったり、専科時数を増やしたりして、教職員の負担軽減や放課後の時間を増やす工夫を図る。	
指標 ・ 時間外勤務時間について、年 720 時間 を超えて実施する教員をゼロにする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式例 3)

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--